

## 在学生の皆さんへ

今年度から学長を務めている中島です。稲田を照り返す夏の日差しがまぶしい時節となりました。新潟県からの要請を受けて、県内の大学では、施設の使用停止を続けてきました。その結果、在学生の皆さんには、新学期開始時に予定されていた行事がことごとく中止となり、不規則なかたちでの新年度スタートとなってしまいました。状況の変化が激しいため、本学の対応についても変更が相次ぎ、心配をお掛けしました。

政府は、5月25日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態の解除を宣言しました。これを受けて、新潟県では、県内の感染状況や拡大のリスクなどについて継続的に評価を行いながら、外出の自粛等については、おおむね3週間ごとに、段階的に緩和していくことになりました。皆さんにも、6月18日までは、北海道、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県との間の移動に限り、慎重に判断されるようお願いいたします。

新潟県は、これまでのところ、比較的感染拡大が抑えられていますが、第二波を回避するためにも、気を緩めず体調管理と感染予防を心掛け、大学生活に臨んでください。

今後も事態の推移に応じて、変更されることがあります。それらに関する大学からの重要な連絡はWebポータルやメールにより随時お知らせしていきますので、その都度、内容を確認して、必要な対応を行って下さい。

### 1 大学施設の利用について

完全閉鎖は解かれています。校舎に入る時は、1号館の正面玄関より入り、入館時は必ず名簿に記入をしてください。お互いの感染予防のために、マスクは必ず着用して下さい。これから暑い時期になりますので、こまめな水分補給で熱中症を防いで下さい。利用できる施設、使用条件は、1号館、2号館ともに限られていますので、Webポータルで確認してください。また、消毒液も正面玄関、食堂入口、図書館入口などに設置していますので、こまめな手指の洗浄を心掛けてください。換気のために、講義室の窓は開けたままを保ちます。売店、スクールバス、図書館、食堂などの利用時間とサービスについても、Webポータルで確認してください。

### 2 遠隔授業について

本学では、6月1日から前期終了時まで、「遠隔授業・対面授業併用期間」とし、オンライン等の遠隔授業に加えて、必要に応じて対面授業を実施することにしました。遠隔授業では学習内容や質が低下するという心配の声もありますが、方法や内容を工夫して水準の維持に努めます。また、遠隔授業だからこそ可能な授業方法を導入するなど、新たな学習活動を展開します。教職員は、3密を回避した新型コロナウイルス感染予防に最大限努めていきます。対面授業が可能となったことによって、前期不開講であった一部の科目が実施できることになりました。詳しくは、Webポータルのメッセージを確認してください。対面授業に出席する際は、事前の検温とマスク着用、消毒液による手指の洗浄をおこない、ソーシャルディスタンスを保つよう注意してください。オンライン授業で、自宅にネット環境やPCなどがない場合には、大学内で受信することができますので、積極的に授業に参加してください。

### 3 修学支援について

アルバイトがなくなったり、世帯収入が激減したりするなど、経済的な困難を抱えている人もいることと思います。大学ホームページでは、家計が急変した場合の、日本学生支援機構の奨学金制度（貸与・給付）を案内しています。また、本学独自の学納金の延納及び分納措置や、提携している教育ローンについても対応しています。今回、文科省が「学生緊急支援給付金」を創設しました。これについては、大学を通しての申請となります。内容や手続き方法の詳しい説明については Web ポータルでお知らせしますが、わかりにくい点があれば学務係に尋ねてください。このほかに、大学独自の支援制度や、近隣自治体が設けた学生支援制度についても案内していますので、不明な点があれば尋ねてください。

### 4 学生生活の相談について

皆さんの中に、基礎疾患などがあって外出ができなかったり、長期にわたる外出自粛によって閉じこもりがちになり、孤独や不安を感じている方はいませんか？ また、就活が思うようにできず、今後の生活に不安を覚えている方はいませんか？ ストレスなどで精神面が不安定になることがあったら、一人で悩んだり、抱え込むことなく、ゼミなどの担当教員や学務課係もしくは健康管理増進室へ連絡してください。カウンセラーの先生を紹介したり、日常の過ごし方や就職活動の仕方などのアドバイスをします。

小規模校である本学は、学生と教職員の距離が近く、困ったときは、どの先生も親身に相談に乗り、手厚く支援をしていきます。守秘義務やプライバシーの保護には、細心の注意を払いますので、安心して相談してください。新型コロナウイルスとの息の長い戦いは続いています。つらい思いに押しつぶされることなく、ともに前を向いて歩んでいきましょう。

令和2年6月1日

学長 中島 純